手外科シリーズ

10. 強剛母指

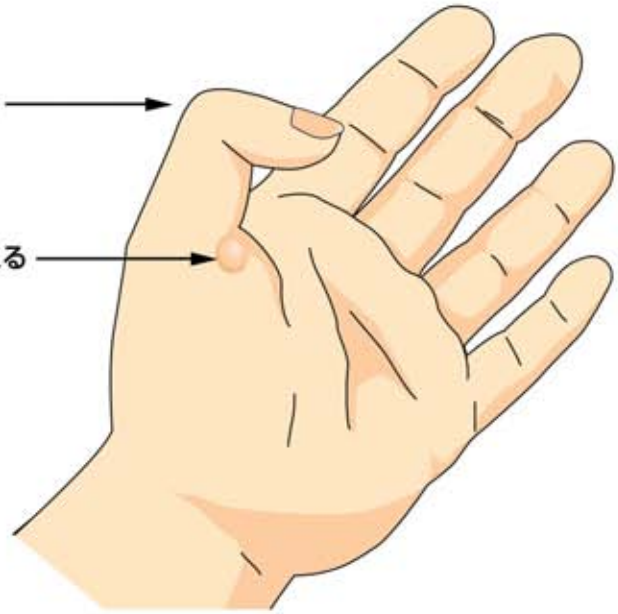
監　修
一般社団法人
日本手外科学会広報委員会

制　作
エーザイ株式会社

MBL0288CKA

10 強剛母指（きょうごうぼし）

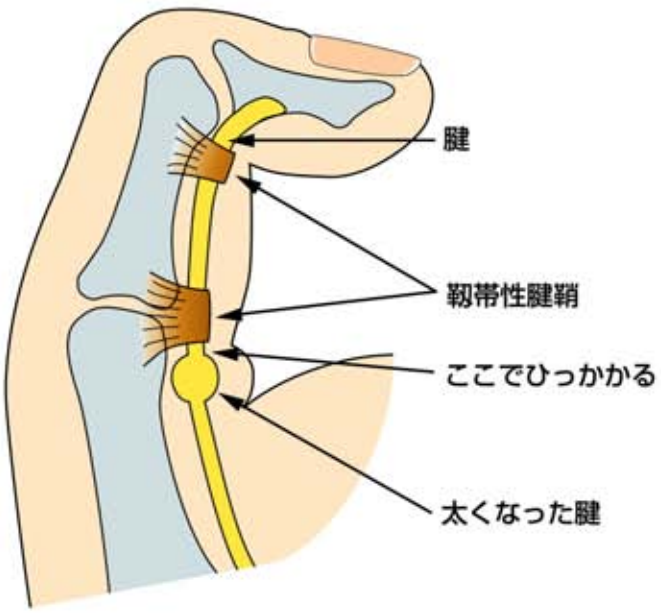
症状

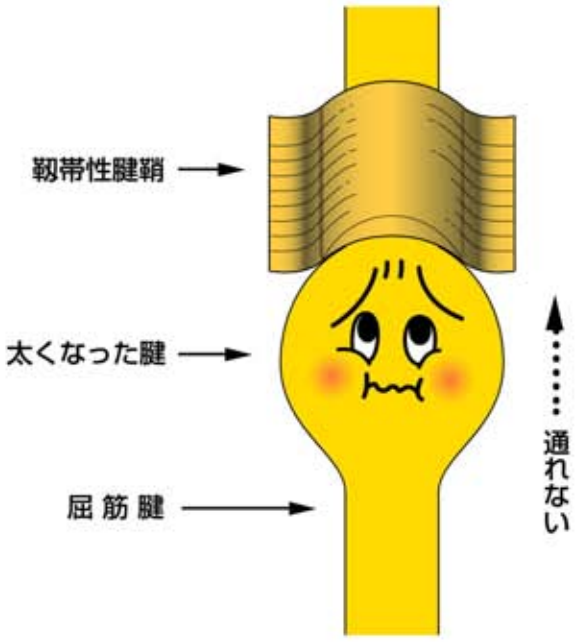


乳児の頃から、母指の第１関節が曲がったままで伸びない状態を強剛母指とよんでいます。付け根の部分にしこりが触れることがありますが、あまり痛がりません。

原因・病態

原因は不明ですが、母指を曲げる腱が太くなり、かたいトンネル（靱帯性腱鞘）の中に入らなくなります。そのため、母指が伸びなくなります。



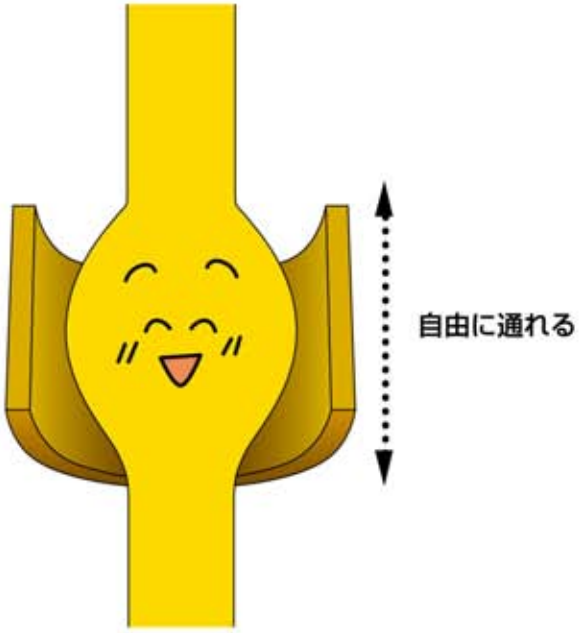


診断

生後3ヶ月以降になって母指を伸ばさないことに親が気づきます。伸ばそうとしても伸びないことや、しこりがあることで診断します。

治療

自然治癒することがあるので放置するか装具をあてたりします。小学校入学前までに治っていなければ手術になることもあります。手術はこの狭くなったトンネルを開きます。それによる障害はほとんどありません。



監修
一般社団法人
日本手外科学会広報委員会

制作
エーザイ株式会社

MBL0288CKA
2011年11月作 成